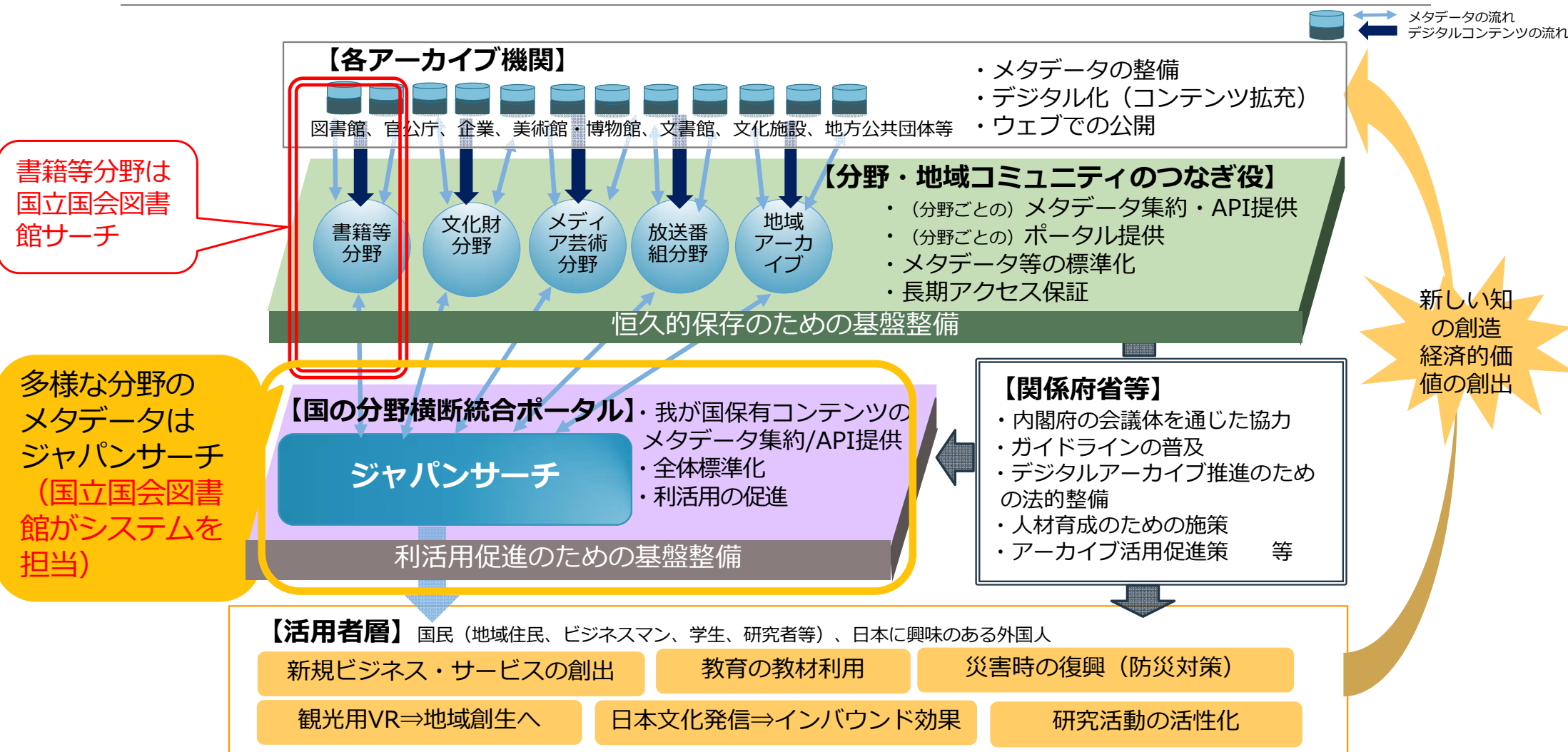


国立国会図書館におけるつなぐアーカイブ ～ジャパンサーチについて～

国立国会図書館 電子情報部

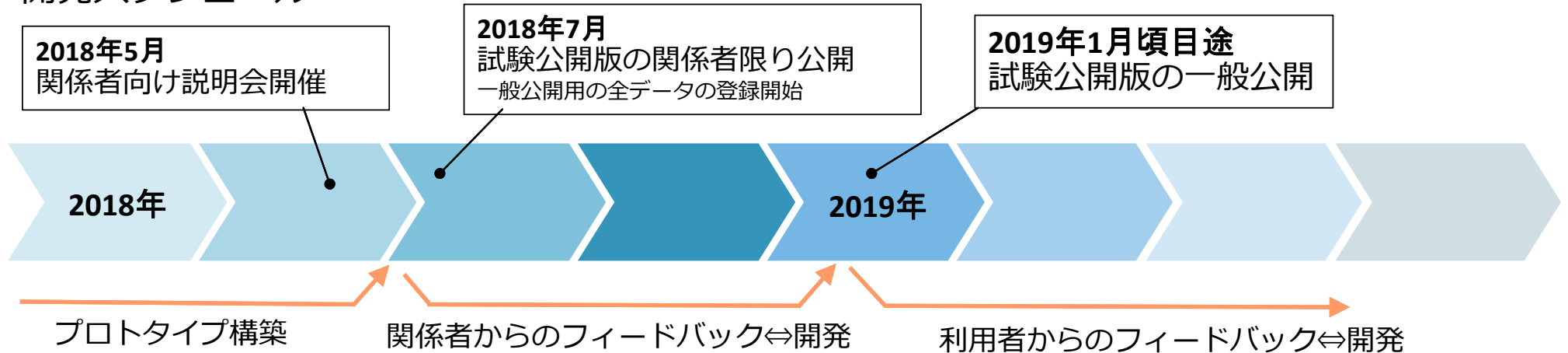
電子情報企画課 山口聡

ジャパンサーチ構築に向けて：役割の整理



ジャパンサーチ（試験公開版）の開発状況

● 開発スケジュール



● 試験公開版（β版）の開発状況

- メタデータの登録・管理を行う「管理画面」を中心に開発し、2018年7月始めに関係者限りで公開
連携予定機関にデータ登録作業を依頼
- 一般公開（2019年1月目途）に向けて、関係者からのフィードバックを受けて、利用者向けの画面デザイン、
検索アルゴリズム等を開発中
- 一般公開後も、利用者からフィードバックを受けて、試験公開版を更に改善へ

メタデータ連携の調整状況

◆ 試験公開版の一般公開（2019年1月）に向けて連携調整中データベース

分野	データベース名（データ提供機関）	試験公開版登録状況
書籍等	国立国会図書館サーチ（国立国会図書館）	○
公文書	国立公文書館デジタルアーカイブ（国立公文書館）	○
文化財	文化遺産オンライン ※国指定文化財等データベース（文化庁）	○
	国立美術館所蔵作品総合目録検索システム（国立美術館）	○
	ColBase 国立博物館所蔵品統合検索システム（国立文化財機構）	○
メディア芸術	メディア芸術データベース（文化庁） ※正式版メタデータモデル検討中のため、連携は一般公開後となる見込み	
	Japan Content Catalog（映像産業振興機構）	
自然史・理工学	サイエンスミュージアムネット S-Net（国立科学博物館）	○
人文学	人間文化研究機構統合検索システム niHuINT（人間文化研究機構）	○
放送番組	放送ライブラリー番組検索 ※ドラマ（放送番組センター）	○
	動画で見るニッポンみちしる（日本放送協会）	○

◆ 今後の連携拡大に向けて

実務者検討委員会「第一次中間取りまとめ」（2018年4月）p.16の連携方針のもと、実務者検討委員会の承認を経て新規連携を開始

- 分野・地域の「つなぎ役」を通じた連携を原則とする
- ただし、「つなぎ役」が明確でない分野・地域では、以下の条件に当てはまるアーカイブ機関との直接連携を検討
 - ✓ 国の機関であり、当該分野におけるコンテンツを幅広くカバーしているアーカイブ機関
 - ✓ 公益に資する目的のため、当該分野におけるコンテンツを幅広くカバーしているアーカイブ機関
 - ✓ 唯一性・独自性の高いコンテンツ群を塊として扱う分野・地域を代表するアーカイブ機関
 - ✓ その他（実務者検討委員会において適当と認められるアーカイブ機関）

ジャパンサーチ(試験公開版)の全体像

国の分野横断統合ポータルサイト

- 我が国の様々なコンテンツの所在等の情報を提供する“分野横断統合ポータルサイト”
- 連携機関へのアクセスを促す窓口であり、分野の特性を生かした「**検索機能**」を提供

利活用のユースケース

- メタデータを集約して何が出来るかの利活用のサンプルにもなる
- クリックするだけでアクセス可能な「**キュレーションページ・電子展示会**」を提供



「伏見稲荷」をテーマとしたキュレーションページの例

利活用促進の基盤

- 誰でもメタデータを容易に活用できるようにする
- 集約したメタデータをAPIで提供し、また、検索画面やキュレーションページ等をウェブページの“部品”として手軽に活用できる「**API・部品機能**」を提供

目指す効果

1. コンテンツの所在等の明確化
2. データ提供機関へのアクセス促進
3. データの利活用の促進
4. データ提供機関への支援
5. 新規ビジネス・サービスの創出等

“国の分野横断統合ポータルサイト”「検索機能」

横断検索

NDLサーチと同じ方式

- 共通項目による横断的な検索、絞込みも可能
(でも全てを拾いきれない? その場合は



カスタム検索

NDLサーチと異なるところ

- 各分野の特性を生かして、連携元の項目を最大限に活用した検索が可能
- 「キュレーションページ」にも活用

• 検索結果の詳細表示画面では、連携元の生データの情報もそのまま表示

- 分野横断的な共通項目を予めマッピング

マッピング自動機能
(メタデータアナライザー)

+

手動補正

NDLサーチと異なるところ

- ユーザ自ら、特定のDB・項目間のマッピングをカスタマイズ
- 検索式の共有
- カスタム検索を共有するためのページも用意

個別に検索式を作成する機能
(UIを別途用意)

- データ提供機関の生データをそのまま保持

データ提供機関

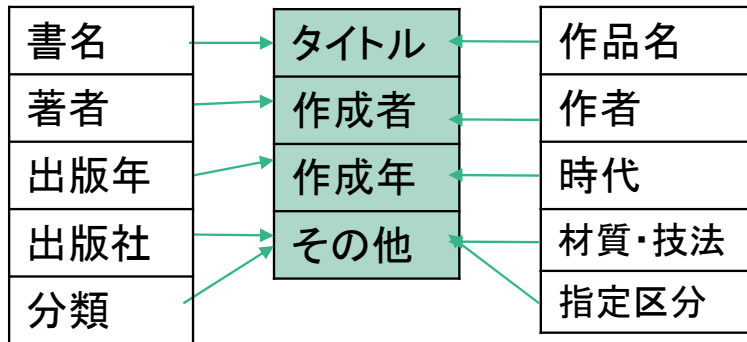
システム連携 (ファイル連携 or OAI-PMH) or 管理機能による手動投入

共通項目とマッピングについて

ジャパンサーチでのマッピングの前提

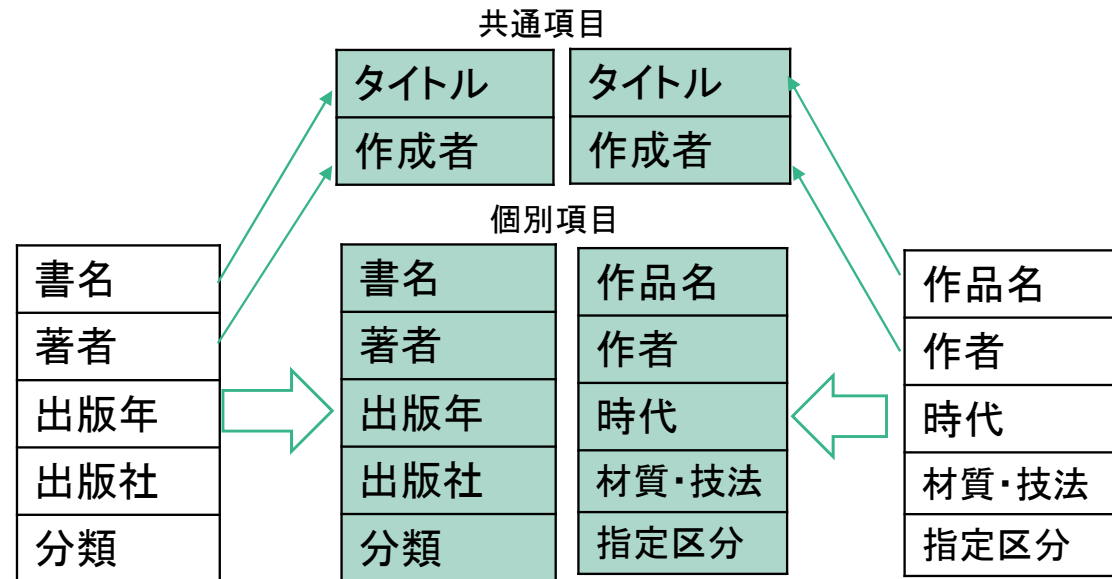
- 連携先追加の容易性を確保するため、マッピングのコストを最小限にする。
- マッピングした共通項目をデータ提供機関の生データに追加して保持する。
- マッピングはメタデータアナライザーで自動推定を行う。

従来 방식



※全ての項目をマッピング

ジャパンサーチの方式



※個別項目に共通項目を追加した形でデータをもつ

利活用のユースケース「キュレーションページ」「電子展示会」

キュレーションページ

- ジャパンサーチの入口として、「検索機能」を使用しない場合でも見て楽しめるページ
- 特定の主題ごとに、予め定義した検索結果等を表示し、コンテンツへの理解を促進する



テキスト、画像、
検索結果、検索画面の組合せ

両方に対応可能な
エディタ機能を用意

電子展示会

- コンテンツに解説を付けて一つのまとまりとして公開できるページ
- 画像はIIIF (画像の相互運用のための規格) に変換して掲載
- SNSで簡単に拡散可能な仕組みも用意する



「キュレーションページ」のイメージ（案）

- ジャパンサーチの入口として「検索機能」を使用しないで楽しめるページ
- 特定のテーマ毎に、予め定義した検索結果等を表示し、コンテンツへの理解を促進

データ提供
機関は誰
でも作成可
能



ギフチョウ

作成：国立国会図書館

代表画像

アイキャッチャーとしての代表的な画像
IIIF（画像の相互運用のための規格）に変換して掲載

テーマタイトル

ギフチョウ（岐阜蝶、学名：Luehdorfia japonica）は、日本固有の蝶。岐阜県の標本によって名前が付けられたが、日本最古のギフチョウ図とみられる『東莞南勲譚』（国立国会図書館所蔵）には、錦蝶の名前で描かれている。

はねの開張50～55ミリ程度で、アゲハチョウ科としては小型だが、黄色い地色に黒の縞模様、後ろはねには赤色、橙色、青藍色の斑紋があり美しい。

解説文

対象の人物や事物等のテーマに関する説明文を表示

本州のみに生息し、北海道、四国、九州、沖縄には分布しない。暖地では3月下旬から4月下旬、分布の北限に近い地域や標高の高い地域では4月下旬から5月下旬にかけて年に1度だけ出現し、最盛期はその地域のサクラの開花期にはほぼ一致している。その美しさ、喜だけに姿を現すはかなさから、「春の女神」の愛称がある。

参考文献

『日本大百科全書』（データベース「JapanKnowledge」にて参照。最終アクセス日：2017年6月29日）

『世界大百科全書』（データベース「JapanKnowledge」にて参照。最終アクセス日：2017年6月29日）

画像を見る



関連する画像

画像のサムネイルを表示

・画像がインターネットで公開されている場合、そちらに直接リンク

・画像をジャパンサーチに登録した場合、IIIFに変換してジャパンサーチ上で閲覧へ

関連する機関

[名和昆虫博物館](#)（岐阜県）

[岐阜市科学館](#)（岐阜県）

所蔵機関情報

テーマに関連する所蔵情報を一覧で表示
クリックすると連携メタデータを表示

関連する書籍・論文



ギフチョウとカンアオイ
[1983]



日本の昆虫 1
[1985]



飛騨のギフチョウ =
Luehdorfia japonica
of Hida region

関連する書籍・論文等のメタデータ

テーマに関連する書籍等の情報を一覧で表示

関連する作品等

Luehdorfia japonica
日本、奈良県 高市町
1985年04月13日

Luehdorfia japonica Leech
日本、神奈川県
1955年04月08日

Luehdorfia japonica
日本、東京都

その他関連するメタデータ

テーマに関連する文献や作品等のメタデータの表示。インターネット公開されている場合、ジャパンサーチの詳細画面経由で閲覧へ

関連するページ・電子展示会



関連するキュレーションページ・ウェブサイト

同じテーマや関連するテーマのキュレーションページ、それ以外のウェブ情報へのリンク

もっと検索する

より高度な検索をするための検索式

テーマに関連する事項に絞った検索を可能とする検索窓

カスタム検索の機能を用いて検索内容（対象データベース等）を設定

API・部品機能 ～利活用促進の基盤として

API機能

- 共通項目のデータの他に、データ提供元から収集したそのままの形のメタデータもAPIで提供
- メタデータアナライザの結果(項目特性に関する情報)もAPIで提供
- 検索API以外に、活用者がメタデータの大量取得を可能とするAPIも用意

部品機能

- APIと協調してブラウザ上で動作する部品を提供
- 部品は、ブログパーツのようなイメージでウェブサイトには貼付可能
- 例えば、連携機関が自館データだけを対象にした(カスタム)検索画面や、自ら作成した電子展示会を自館HPへ簡単に掲載できる
- CSS(ウェブのレイアウト定義)によるデザイン変更も可能。

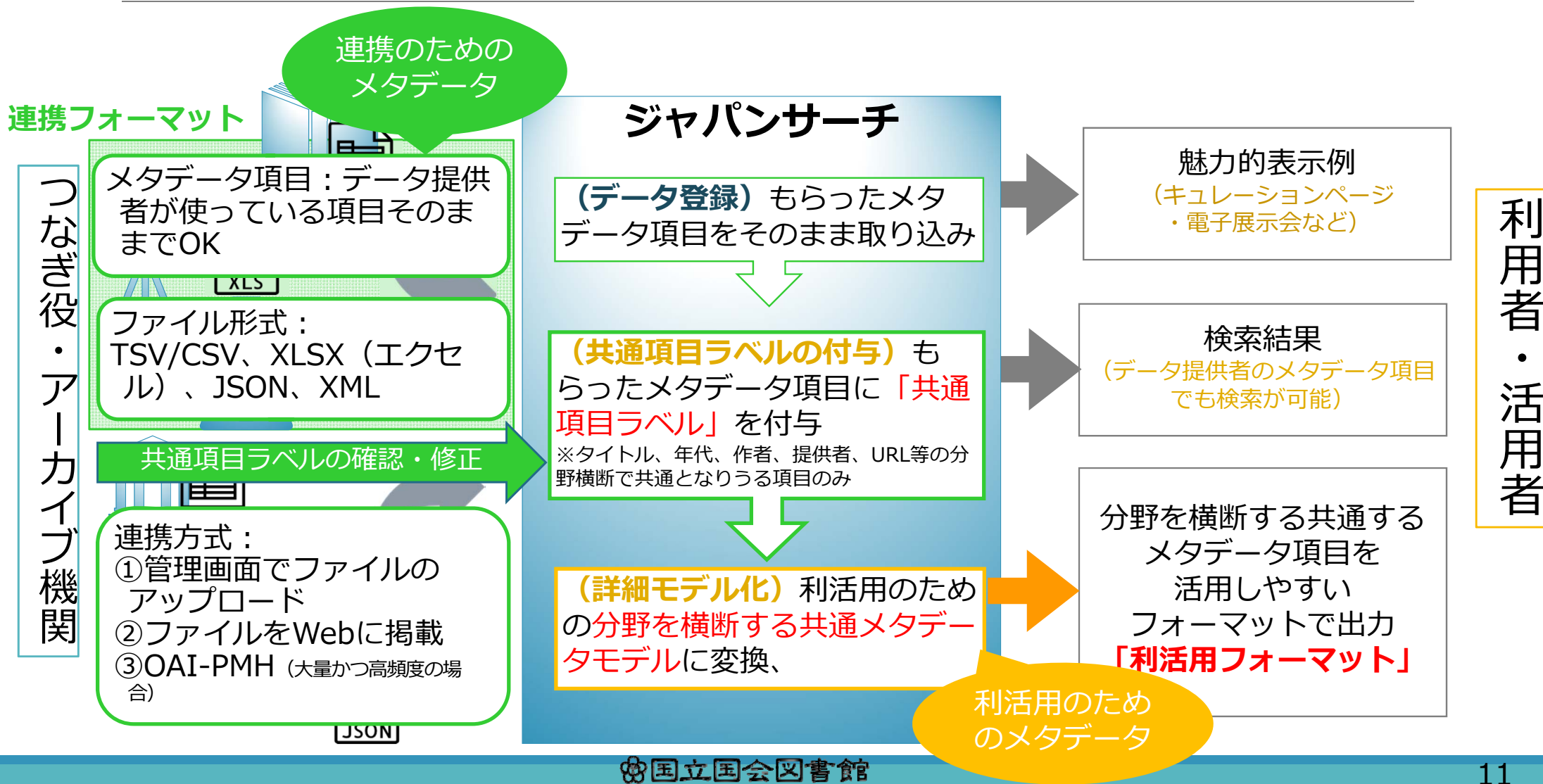
現在開発予定の埋め込み部品:

- 検索
- キュレーションページ
- 電子展示会

検索部品を埋め込んだ場合のイメージ



ジャパンサーチにおけるメタデータの連携と利活用



ジャパンサーチにおけるデータ変遷 (イメージ)

つなぎ役/ アーカイブ機関

(オリジナル) ソースデータ

名称: 刀
サイズ: 68.1弱
和暦: 長禄2
分野: 工芸
作者名: 長光
所蔵: X博物館



登録・共通項目ラベル付与

共通項目ラベルの付与

共通項目ラベル名

名称/タイトル

名称: 刀
サイズ: 68.1弱
和暦: 長禄2
分野: 工芸
作者名: 長光
所蔵: X博物館
データベース: Y DB
タイプ: 文化財

時間

寄与者

提供者

DB単位
の情報

ジャパンサーチ

詳細モデル化

ラベル: 刀剣 (https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/00573180)
コンテンツ記述: 68.1弱
時間: 1459
主題: 工芸
作者: 長光
提供者: X博物館
アグリゲーター: Y DB
タイプ: 文化財

共通情報

名称: 刀
サイズ: 68.1弱
和暦: 長禄2
分野: 工芸
作者名: 長光
所蔵: X博物館

ソースデータ

マッピング

- 共通項目ラベルは自動で付与後、データ提供館で確認・修正が可能
- 最小限度の項目のみ実施

魅力的表示



検索機能



- 一部項目を抽出・コピー/変換 (正規化)
- 値はできるだけURI化
- ソースデータも保持

検索機能の 精緻・高度化



「利活用フォーマット」 で出力



ジャパンサーチ構築に向けた課題

● 課題

➤ 各分野・地域の「つなぎ役」の明確化

⇒不在の分野に対して、体制作りを

➤ 「ジャパンサーチ」構築・運営のための協力体制の強化

⇒適正かつ持続可能な運営のための、分野を横断した体制の構築を

•現状は連携機関の決定を実務者検討委員会、システム開発を国立国会図書館が担当

•今後、各分野との協力を要する取組が増えることが想定される（連携に係る判断、共通メタデータフォーマットの更新、キュレーションページの企画・編集、利活用促進に向けた広報等）

➤ 多様な領域のメタデータ・サムネイルの流通促進

➤ オープンなデジタルコンテンツの拡充

この2つがジャパンサーチ
成功に向けたカギ

データ提供機関の皆さまへ：**オープンな利活用が可能なデータの整備・提供へのご協力を！**

一般公開までに ○メタデータは、原則CC0に（※例外及び出典等表示への配慮あり）

○サムネイルはCC0/CC BY相当に

○デジタルコンテンツの公開を増やし、可能ならCC BY相当に

